



他市より一歩先を行くような未来を見据えた大胆な政策を



公明党議員団
今村 智津子 議員

6月14日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 防災・減災対策
 - (2) 定住人口の増加
 - (3) 子ども・子育て支援
- 2 自治体 ICT の取り組みについて
- 3 健康対策について
 - (1) 万全な風疹対策
 - (2) 子宮頸がんワクチンの正しい認識
 - (3) 子宮頸がん細胞診検査とHPV検査の併用

市長の政治姿勢について

防災・減災対策

問 市が所有する全ての社会資本や公共施設の維持管理など、長期的なコスト縮減や平準化を図るといふ、アセットマネジメントの考え方の必要性について聞きたい。

答 これまでの事後的な維持・修繕から、予防的な維持・修繕及び計画的な改築・更新へと転換を図る。施設の長寿命化と長期的なコストの縮減・平準化を図り、計画策定において把握した改修履歴や費用、利用状況などを白書として取りまとめ公開し、情報を共有しながら安全性や利便性の確保に努め、アセットマネジメントの考え方を取り入れる。

定住人口の増加

問 今後の少子高齢化を見据え、どのような手だてで定住人口を増やそうと考えているのか聞きたい。

答 まちの魅力を高めるといふことに尽きる。次世代育成支援や教育施策・事業に重点を置いたソフト事業の充実と企業誘致や地場産業の振興による雇用の場の創出・確保、中心市街地活性化の取り組み、防災・防犯の安心安全の取り組み、大蛇山や近代化産業遺産など本市固有の地域資源を活用した

まちづくりなどに取り組む。

問 定住促進に係る事業が来年3月で切れるが、次の手を打つ計画はあるのか聞きたい。

答 3年間の事業の総括を行って成果をみた中で、また考えていきたい。



子ども・子育て支援

問 次世代育成支援行動計画をどう具体化していくのか聞きたい。

答 次の世代、未来を拓く子どもたちの育成は、喫緊かつ重要な課題。特に次世代育成支援策に重点を置いたソフト事業の充実に取り組む。いきいき子どもプランⅡ後期行動計画に基づき取り組んでいく。



自治体 ICT の取り組みについて

問 災害時において行政事務が行われるよう、その根幹をなす行政システムの事業継続についての考えを聞きたい。

答 情報資産の消失を防ぐため、住民情報や税などの情報資産を磁気テープなどの外部媒体に記録をし、遠隔地に保管するサービスを本年3月より利用をし、対応している。行政システムの事業継続についても、27年度を目途に ICT 部門の業務継続計画を策定することとしている。

健康対策について

万全な風疹対策

問 風疹の流行が全国に広がっている。社会全体で子どもを守るためにも、ワクチン接種が大切である。費用負担の軽減のために、他の自治体では市独自に助成しているところもある。先天性風疹症候群の発生を予防するため、本市の考えを聞きたい。

答 新婚夫婦向けへの情報提供、注意喚起、医療機関への情報提供等の対策を実施しており、今後も市民への情報提供に努める。接種費用助成については、国等への要望を行っていきたい。